

ひもときシート“アシスト”

A 援助者が認識する課題 A B1 B1	病気と薬の影響を推測しましょう ☐ 原因疾患やステージ ☐ 中核症状 ☐ 現病・既往 ☐ 薬 ☐ その他、病気と薬 推測したこと 3 情報収集の方法 4	健康状態の影響を推測しましょう ☐ 水分や食事の摂取量や摂取方法 ☐ 排泄の状況 ☐ 睡眠や日中の活動 ☐ 痛みやかゆみ ☐ その他、健康状態 推測したこと 3 情報収集の方法 4	病気と薬(情報収集・整理) 情報収集により得られた事実 5 事実から裏づけられたこと 6	健康状態(情報収集・整理) 情報収集により得られた事実 5 事実から裏づけられたこと 6	E 本人の望みや求めていること 「～したい」本人の思いの代弁 E
	C 左記Aのとき、認知症の人は具体的にどのような言葉、表情、しぐさをしていますか？ (スタッフが取り上げた困りごと) 1		D 【本人視点】認知症の人はどのように感じ、考え、そして何に困っているでしょうか？ (仮説) 7		
B2 取り組んでいること B2	本人要因の影響を推測しましょう ☐ 性格 ☐ 生活習慣 ☐ ストレス耐性・感情 ☐ 能力と活動のズレ ☐ 意欲や望み ☐ その他、本人の要因 推測したこと 3 情報収集の方法 4	人的環境・物理的環境の影響を推測しましょう ☐ 感覚刺激(音・匂い・暑さなど) ☐ 物理的環境 ☐ 家族など他者との関わり ☐ 悪性の社会心理 ☐ 傾聴・受容・共感 ☐ 関わりの量や丁寧さ ☐ 認知機能に応じた配慮 ☐ その他、環境 推測したこと 3 情報収集の方法 4	本人要因(情報収集・整理) 事実から裏づけられたこと 6 情報収集により得られた事実 5	人的環境・物理的環境(情報収集・整理) 事実から裏づけられたこと 6 情報収集により得られた事実 5	F 解決に向けてできそうなこと ㊦今できそうなこと、㊧試せそうなこと、㊨再度の事実確認が必要なこと F
STEP1 現 状 評価的理解	STEP2 要因分析(推測エリア) 分析的理解(思考展開エリア)				STEP3 仮説⇒実践 共感的理解